

2019 年度上期 事業説明会要旨

2019 年 6 月 5 日(水)に、報道関係者の皆様を対象に 2019 年度上期 事業説明会を開催いたしました。

<発表者>

代表取締役社長 井村 公彦

発表要旨は以下の通りです。

2019 年度は、「お客さまへの提供価値の向上」を経営方針に掲げ、革新的なサービスの導入と地域力の強化に取り組んでまいります。

革新的なサービスの導入

■ ホーム IoT サービス「J:COM HOME」の提供開始

「いつもの暮らしを もっと便利に、もっと安心を」をコンセプトに、手軽にご自宅をスマートホーム化できるホーム IoT サービス「J:COM HOME」の提供を 6 月 27 日から順次開始します。当社では、「J:COM HOME」を主力サービスの1つに位置づけ、電力・ガスに続くお客さまの生活に不可欠な存在となるサービスに育てていきたいと考えています。

✓ 「J:COM HOME」(概要)

- ・2019 年 6 月 27 日(木)から順次提供を開始します。
- ・音声でも、外出先からも、家電操作を可能にする「家電パック」と、外出先からいつでも宅内を見守れる「見守りパック」の2種類の基本パックを提供します。
- ・基本パックにはスマートスピーカー「Google Home Mini」が含まれているので、音楽の再生、天気予報やニュースのチェックができます。
- ・また、基本パックには、設置から設定・ID 登録・操作方法のレクチャーなどのサポートが含まれています。
- ・ネットワークカメラなど、オプション機器を追加して機能をプラスできるため、お客さまのライフスタイルにあわせて、基本パックやオプション機器をお選びになれます。
- ・「J:COM TV」や「J:COM NET」などの J:COM サービスに月額 1,480 円(税抜)を追加するだけでご利用になれます。

✓ 「J:COM HOME」ご利用シーン(例)

- ・家事や育児で手が離せないときに、音声で、テレビなどの家電を操作できます。
- ・外出先からスマートフォンで家電を操作することもできますので、帰宅途中にエアコンや照明をつけることが可能です。
- ・自宅のドアの開閉をスマートフォンに通知し、外出中でも家族の帰宅が確認できるほか、ネットワークカメラを利用して、ペットの様子も確認することができます。

✓ 「J:COM HOME」 4つの特徴

- ・2,600名の営業スタッフと600名のアフターサポートスタッフが、お客さま宅を訪問し、お客さまのライフスタイルにあわせてご案内します。
- ・専門スタッフが、お客さま宅を訪問し、設置・設定・ID登録を実施し、使い方をレクチャーするなど、サポート体制が強みです。
- ・1つのアプリで、全ての機器の設定・操作が可能で便利です。
- ・「LaLaTVつけて」など、J:COM TVを音声操作でご利用になれます。

今後も、お客さまのニーズを反映し、「J:COM HOME」の更なる拡充を図ってまいります。

地域力の強化

■ 組織力強化

当社は、1月から6月にかけて、関東圏の子会社を4都県ごとに再編・統合し、全国レベルで26社から11社に集約しました。また、11社のケーブルテレビ子会社のうち、主要6社を地域法人とし、各傘下のケーブルテレビ局を運営し、法人運営の責任を担います。再編の狙いは、機動力強化、業務効率の向上、そして現場力の増強であり、新たな体制を構築することで、当社の強みである、「地域性」を更に深化させることにあります。地域に密着したスピード経営の実現を図り、地域特性を生かした戦略を地域法人ごとに推進していくことで、地域で必要不可欠なケーブルテレビ会社を目指してまいります。

■ イベント実施を通じた地域連携の強化

当社では、自治体や地域のステークホルダーと連携し、地域活性化の施策を企画から実行まで担う地域プロデューサーを地域法人と局に配置しています。現在、自治体が注力している施策の1つに、スポーツを核とした地域活性化があります。今年9月に開催されるラグビーワールドカップでは、開催地12都市のうち、9都市がJ:COMのサービスエリアにあることから、コミュニティチャンネルと連動した企画や、ラグビーワールドカップの関連イベントの企画・運営を支援していく予定です。

✓ ラグビーワールドカップ開催都市のPR事業支援

- ・「100日前イベント」、「パブリックビューイング」、「ウェブサイト管理運営業務」などを通して、開催地のPR事業を支援していきます。

その他の取り組み

■ ラグビーワールドカップへの取り組み

グループチャンネルの J SPORTS も長年ラグビー中継に注力していることから、全社を挙げてワールドカップ日本開催の盛り上げに貢献していく予定です。100 日前イベントの開催を通してラグビーワールドカップの機運醸成を図るほか、全 48 試合を 4K で生中継し、これまで蓄積してきた経験とノウハウを存分に発揮し、高精細な画質とともに、魅力ある放送をお届けします。

✓ スポーツ専門チャンネル J SPORTS の取り組み

- ・開幕 100 日前イベントを 6 月 12 日に J:COM Wonder Studio で開催します。
- ・全 48 試合を 4K で生中継します。

■ 新たな“体験価値”の提供

メディア事業においては、新たな体験価値を提供する取り組みに挑戦します。今年8月1日に、エンターテインメントスペース「スペース J」を渋谷にオープンいたします。

✓ コミュニケーションスペース「スペース J」(概要)

- ・エンターテインメントスペース「スペース J」を 8 月 1 日に西武渋谷店モヴィーダ館7階にオープンします。
- ・コンセプトは、「トキ」と「モノ」を提供する新しいコミュニケーションスペースの創出です。
- ・トークショー、スクール、展覧会など多種多様なイベントを展開します。
- ・番組や映画をご覧になったお客さまが、イベントを通じてコンテンツの「リアルな楽しみ」を体験し、新しい価値を発見できるようなスペースを目指します。
- ・ファンの拡大とともに、放送以外のビジネス強化を図ります。

■ 5G への取り組み

地域に寄り添う事業者として、5G の活用を意欲的に検討しています。当社が考える 5G 活用の具体的なイメージには、FWA と呼ばれる固定網の代わりになるようなサービスの提供、また、各地域の自治体や企業が有している社会的な課題を、5G をツールとして活用し解決していくことです。地域のお客さまのために、5Gという新たな技術を活用して、地域産業の活性化に貢献していく所存です。

以上